

CONTENTS

- 整形外科部長紹介
- 医師コラム「悪性リンパ腫」について
- 7階西病棟の紹介
- 外来患者様アンケートの要旨
- 区民健康講座のご案内
- 予防医学センターの紹介

T.M.P.H.ニュース

2018 Autumn Vol. 24

Tokyo Metropolitan Police Hospital News

..... 整形外科部長紹介

本年6月に整形外科部長を拝命いたしました、西原洋彦と申します。私は1992年に東京警察病院の整形外科に入局して以来、関連病院での数年の研修を含め26年間警察病院一筋で勤務してまいりました。そのため当院の整形外科のいいところも弱点も重々承知しているつもりであります。いいところは、所属医師全員が自分の専門以外の疾患についての知識を共有していること全員が外傷(骨折や捻挫など)の治療をできる技術があることに加えて、それぞれが専門を持っていることです。弱点は緊急の手術、時間外の患者さんに対して十分な対応ができないことです。地域のマグネット病院を目指す当院にとっては不本意な状態であり、近隣の整形外科の開業医の先生方におかれましても、不満足な対応になってしまっていたことと思います。今回部長になるに当たり、病診連携を更に大切に、特に地域の患者さん、近隣の開業医の先生方からご紹介いただいた患者さんの受け入れを強化してまいりたいと思います。

私自身はあらゆる外傷の治療を扱っておりますが、専門は膝の外傷(前十字靭帯断裂、半月板損傷など)や、肩の疾患(反復性肩関節脱臼、腱板断裂など)の治療です。前十字靭帯再建術は初期固定力が高く、術後すぐに全体重をかけての歩行訓練ができる、膝蓋腱を移植しスクリューで固定する方法で行っております。スクリューは金属製ではなく、のちに骨に置換される素材を使用しておりますので、将来抜く必要はありません。(図1参照)



整形外科 部長
にしはら ひろひこ
西原 洋彦

プロフィール
1991年山形大学医学部卒
1992年東京警察病院整形外科入局
西東京警察病院勤務
公立昭和病院勤務
2001年より東京警察病院に勤務

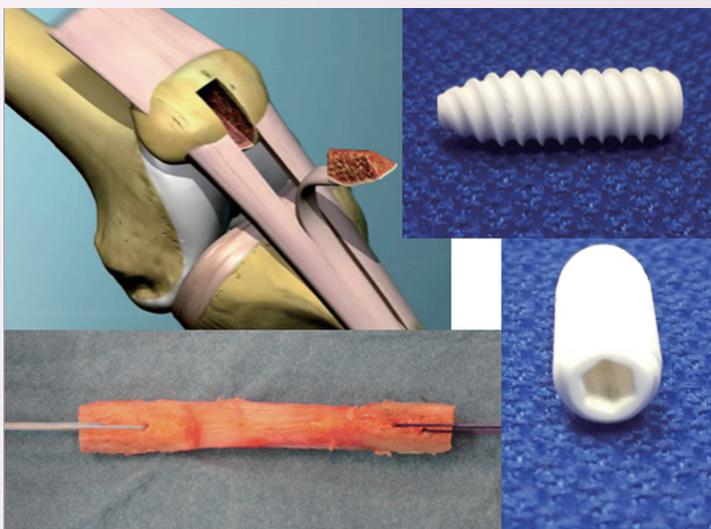
日本整形外科学会専門医
日本整形外科学会スポーツ専門医
専門分野は、膝、肩の鏡視下手術(靭帯断裂、半月板損傷、反復性肩関節脱臼、腱板断裂)、一般外傷。

入院期間は10日間で、ほとんどの患者さんは松葉杖なしで歩いて退院されております。今まで1000例近く手術を行っており、術後の合併症を含め十分に対応できていると自負しております。反復性肩関節脱臼は、内視鏡を使用して行いますので、侵襲が少なく術後のリハビリテーションが比較的楽に進んでいきます。また、傷口が小さく(1cmのものが肩の前に2つ、後ろに1つ)ほとんど目立ちません。腱板断裂のほとんどは陳旧性であり、今まで無症状であったものがMRIをとってたまたま見つかったものが多く、そのほとんどはリハビリテーションで改善するため手術を行うことは多くはありませんが、新鮮な断裂に対しては積極的に手術を行っております。

最近、ロコモティブシンドローム、サルコペニア、骨粗鬆症などの加齢に伴う疾患に対する運動療法の重要性に興味を持っております。高齢者が自分の体調不良に対して、能動的に運動療法を行うことの大切さを日々外来で説明しておりますが、なかなかうまくいっておらず、受動的な治療のみを希望する患者さんが多い現状をなんとか変えていきたいと思っております。

また、職場の皆が生き生きと働き、患者さんたちにもいい影響を与えるようなそんな職場づくりができたらと思っております。

皆様のお役に立てる整形外科になるよう、整形外科の医師全員がますます努力を重ねてまいりたいと存じますので、何卒よろしく願いいたします。



(図1)



東京警察病院
Tokyo Metropolitan
Police Hospital

東京警察病院の頭文字「T」をモチーフに、3つの「意味」を込めてつくられました。

- Thoughtful(ソートフル)..... 患者様の立場に立った医療を目指していきます
- Technical(テクニカル)..... 医療レベルの向上に努めていきます
- Trustworthy(トラストウォージー)..... 皆様の信頼に応えていきます

医師コラム

悪性リンパ腫について

悪性リンパ腫(以下リンパ腫)は悪性腫瘍の一つで、一言でいえばリンパ球の“がん”です。年間に国内でおよそ2万人が新たに発症しており、決して珍しい病気ではありません。発症の原因を訊かれることがよくありますが、特定ウイルスのキャリア、免疫抑制剤の使用、いくつかの自己免疫性疾患、といったリスク因子はあるもののそれらのリンパ腫全体に占める頻度は小さく、多くの場合発症の原因は不明です。外科的治療や放射線治療などが有効な場合もありますが、治療の原則は抗がん剤を用いた化学療法です。

1. リンパ腫はどこにでもできる

リンパ腫の特徴の一つは、さまざまところから発症することです。胃癌や肺癌のように名前が発症部位がわかる固形癌と異なり、リンパ腫は全身に分布しているリンパ節のどこからでも発症するのみならず、脾臓、骨髄、消化管、皮膚、分泌腺、生殖器、神経といったリンパ節以外の組織からも生じます。実際、固形癌と思って切除したらリンパ腫だったということはよくあります。発症の場所によって症状も異なってきます。身体の表面に近いリンパ節が腫ればそれが自覚症状になりますが、胸やお腹の奥でリンパ節が腫れても触ることはできないので、腫瘍が大きくなって体重減少や発熱、発汗といった全身症状が出てくるまで分からないかもしれません。

腸管で発症した場合は腹痛を起こすことが多いですし、神経組織やその近くで発症した場合は運動麻痺をきっかけに診断がつくこともあります。

2. リンパ腫は病型が大事

リンパ腫のもう一つの特徴は、たくさんのタイプ(病型)があることです。リンパ腫と総称される病気には約60種類の病型があります。それらの多くは、「1. 進行は速いが治療によって治癒が期待できる中悪性度タイプ」「2. 進行は遅いが治癒するのは難しい低悪性度タイプ」「3. 進行がとても速く強力な治療を要する高悪性度タイプ」のいずれかに大別されるので、タイプに応じて治療の方向性を決めることが重要です。例えばタイプ1. の代表格であるびまん性大細胞型B細胞リンパ腫は診断したらなるべく早期に治癒を目指した治療を開始すべきですし、タイプ2. の代表格である濾胞性リンパ腫であれば、なにか都合の悪い症状が出てくるまでは治療しないという方針も許容されます。リンパ腫にも固形癌と同じようにステージ1～4の病期分類があり、病気の性質上、診断時にステージ4であることが多いですが、ステージ4でもタイプ1. のリンパ腫なら治癒する可能性は十分ありますし、タイプ2. のリンパ腫なら治癒は難しいとしても、適切なタイミングで治療を行うことで再発と寛解を繰り返しながらも天寿を全うできる可能性があります。つまり病期よりも病型の方が重要ということになります。

当院では関連診療科との連携によって迅速に病変を採取し、リンパ腫の正確な病型診断ができる体制が整っています。また、強力な化学療法を安全に行うために不可欠な無菌管理設備を有するほか、通院化学療法センターでの治療も可能でさまざまなニーズに応えます。治療効果の判定や再発の診断に有用なPET-CTがあることも当院の強みです。初発、再発に関わらず、当院での検査・治療を希望される方の受診をお待ちしています。

脳や神経にできると手足に力が入らなくなったりします

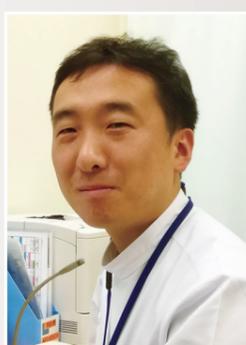
首にできたものはさわって気づくことがあります

肺や心臓・気管の近くにできると息苦しさが見れます

尿の流れをせき止めて腎臓を傷めることがあります

腸管にできると腹痛や血便を起こし、腸管に穴をあけることがあります

病変が大きくなると、発熱、発汗、体重減少が出てきます



血液内科 主任医長
荒井 俊也

【専門領域】
造血器腫瘍、造血障害

【主な資格】
日本血液学会血液専門医
日本内科学会総合内科専門医
日本がん治療認定医機構
がん治療認定医

図: リンパ腫によるさまざまな症状

7階西病棟の紹介

7階西病棟は、循環器内科、血液内科を主科としています。小児科の入院も例外的に受け入れており、0歳から100歳以上と幅広い年齢層に対応しています。患者様は検査目的で入院される方、治療のために入退院を繰り返す方、状態が悪化して集中的な治療が必要となる方、と症状も様々です。多種多様な既往を抱えていることが多く、日常生活習慣や生活背景もそれぞれ異なる中、患者様一人一人が退院後に継続できて生活習慣改善に繋がる指導に取り組んでいます。

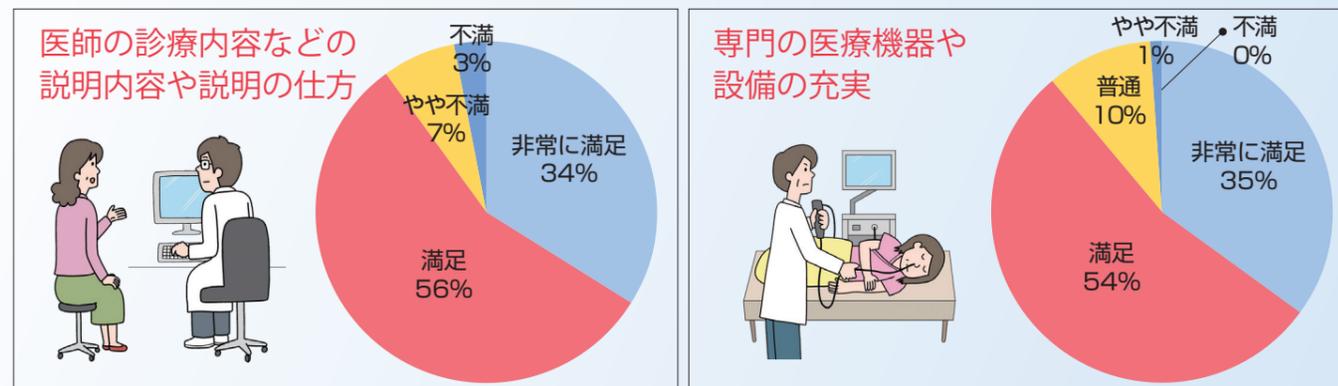
入院期間が短くなっている現在、必要な医療を効果的に提供し、早期に「生活の場に帰っていただけること」を意識をして適切な医療を行うことが医療者に求められます。そのため入院早期に医師・病棟看護師・医療ソーシャルワーカー・理学療法士、薬剤師で毎週カンファレンスを行い、目の前の患者様について総合的に考え、話し合いで方向性を検討しています。そしてこれからの生活をどのように送っていくかを一緒に考える医療を提供しています。



私たち7階西病棟の看護師は、患者様が可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい生活を続けることができるよう、地域と連携して患者様に寄り添う看護を大切にしています。

■ 外来患者様アンケートの要旨(平成30年7月10日～11日実施)

当院では全ての来院者を対象に、「提案箱」を設置しているほか年1回、外来及び入院の患者様を対象にアンケートを実施しております。今回の外来アンケートでは、478名の皆様から貴重なご意見を頂きました。皆様の率直な声を真摯に受け止め、ご期待に添える病院経営に反映させたいと考えております。



■ 提案箱にお寄せ頂いたご意見への対応 ※提案箱は外来フロアや病棟ラウンジに設置しております。

ご意見	解決策
総合案内に色々な相談が出来る看護師さんがいると安心できると思います。	経験豊富な看護師を配置いたしました。
ベビーカーを持っての通院は大変なので病院に備え付けてくれませんか。	総合案内と小児科外来に貸出し用ベビーカーを備え付けました。



区民健康講座のご案内

地域の皆様を対象に医療の様々な分野と知識について
当院の医師がわかりやすく解説する健康講座を開催しています。

第101回 11月10日(土)
午後14:00～15:00
(開場13:30)



救急科部長
金井 尚之

テーマ 地震が来ます。準備は出来ていますか?
～合併症で命を落とさないために～

講演後は、皆様からのご質問も承ります。
たくさんの方のご参加を心よりお待ちしております。

**受講料
無料**

◆場 所：東京警察病院 9階 大会議室
◆申 込：経営企画課へお申し込み下さい。
①電話：TEL 03-5343-5611 (内線14552)
受付時間：8:30～17:00 (日曜日・祝日・年末年始を除く)
②FAX：ホームページよりFAX用紙を印刷して頂き送信して下さい。
FAX 03-5343-5612

※電話・FAX番号をお確かめのうえ、お間違のないようお願いいたします
*各回とも定員(60名)になり次第、締め切りとさせていただきます
*当日、お車の方は病院の駐車場をご利用下さい(30分/100円)

参加者の声

- いつもタイムリーなテーマで開講していただきありがとうございます。
- とても役に立つ講座でした。●毎回有意義で楽しみにしております。

過去に開催されたテーマ

- 人工関節・膝関節いつ手術しますか? ●その薬大丈夫?不眠と睡眠薬について ●こ頭痛外来へようこそ～頭の痛い話～

第102回 12月1日(土)
午後14:00～15:00
(開場13:30)



血液内科主任医長
荒井 俊也

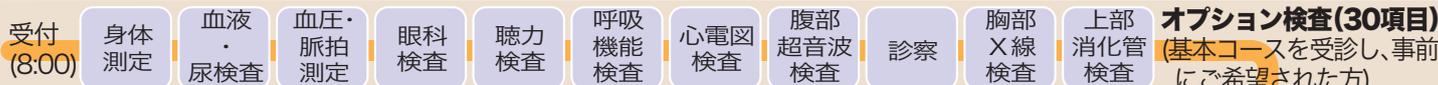
テーマ 貧血の原因と治療



予防医学センターの紹介

病気の早期発見と予防のため、充実した医療機器と経験豊富なスタッフによる高度な検査を提供いたします。また、病院併設型ドック機能によるフォローアップ体制が充実しています。

基本コースの流れ (所要時間約4時間30分)



コース料金

基本コース 54,000円(税込み)

結果 終了 ※検査の順序は、
説明 (おおよそ12:30) 状況により前後します。

*その他、PET-CT検査等のオプションを多数ご用意しております。ご予約・お問合せ先 受付時間/ 月曜日～土曜日 10:00～16:30
詳細は予防医学センターまでお問い合わせください。 予防医学センター(9階) 電話番号/ 03-5343-5750(直通)

診療のご案内

受付
時間

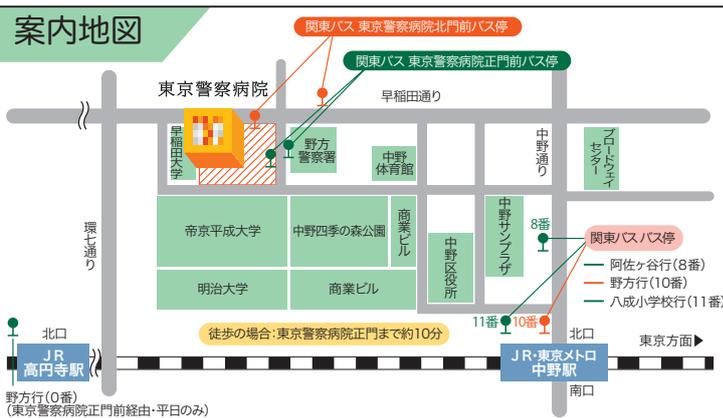
月曜日～土曜日 午前 8:00～11:30
午後 12:30～16:00
■ 自動再診受付機稼働時間……7:30～16:00
■ 自動精算機稼働時間……8:30～17:00
※防災センター自動精算機:24時間稼働
■ 休診日:日曜日・祝日・年末年始(12/29～1/3)



レストラン「憩」
9F
営業時間: 7:30～18:00



ナチュラル・ローソン
1F ATMあり
営業時間: 6:00～21:00



野方行(0番) 野方行(10番) 八小小学校行(11番)
野方行(0番) (東京警察病院正門前経由・平日のみ)
P 屋外駐車場 78台 一般料金:200円/30分 受診者料金:100円/30分
病院敷地内は全面禁煙です。ご協力をお願い致します。

理念

私たちは、医療の質の向上と患者さまの満足を目指し、
日夜努力いたします

基本方針

- 私たちは、患者さまの権利と意志を尊重し患者さまの立場に立った医療を実践します
- 私たちは、常に医療モラルと医療レベルの向上に努め、良質で信頼される医療を提供します
- 私たちは、地域の皆さまの信頼のもと、地域医療の発展に貢献します
- 私たちは、医療を通じて職域をサポートし社会の安全に寄与します
- 私たちは、患者さまが安心して療養に専念していただけるよう、健全な経営を推進します

患者さまの権利と責務

- **基本的権利**
良質で安全な医療を、
等しく受けることができます
- **情報得る権利**
十分な説明と情報提供を受けることができます
- **自己決定と選択自由の権利**
自己の意志に基づき、治療を選択すること、
あるいは拒むことができます
- **情報保護の権利**
個人の医療情報ならびにプライバシーは、保護されます
- **責任と義務**
他の患者さまの診療、ならびに医療従事者の業務を
妨げるような行為は、慎んでいただきます